



中小企業庁が公募開始!

事業再構築
補助金

ポストコロナ・ウィズコロナ時代における社会の変化に対応していくための、中小企業等の事業再構築を支援する補助金。新分野展開・事業転換などの思い切った事業再構築に挑戦する中小企業等が対象となっています。

事業再構築のイメージ



当金庫は補助金を通じてご事業の再構築をサポートしています!



一緒に計画を策定し、お客様の想いを形に!

お客様が作成された事業計画書を、担当者と本部の専門部署が内容を精査し、フィードバック。必要に応じて、コンサルティング会社も紹介します。



補助金採択後の金融支援もスムーズに対応!

補助金受給までのつなぎ資金など、必要に応じて資金手当もサポート。
※審査の結果、ご要望にお応えできない場合があります。



計画の実行に向けた課題解決をお手伝い!

販路拡大や人材確保など、新分野への展開を進める上で必要な項目に対して、当金庫が様々な形で伴走します。

事業再構築補助金を活用された
北山支店お取引先
株式会社 きたやま南山様

飲食事業 × 食育

食のコミュニティ事業をスタート!

会長 楠本 貞愛様

社長 楠本 公平様

京都北山通沿いにある築200年の古民家で、焼肉店を親子2代で経営。今年で開業50周年を迎える。生産者と消費者をつなぎ、多くの方を笑顔にする“食の流れの実現”を目指されており、コロナ禍での一時休業が生じた中でも、食を通じた様々な事業に挑戦中。



信頼する農家から想いと
共に引き継いだ、こだわりの
牛肉を提供。



HITOYOSHISTORE
by NANZAN

南山自慢のお肉や地元
産の新鮮なお野菜などを
販売。



さとのがま
ほいくえん
SATOSAYAMA
HOIKUEN

働く母親に向けた食
育による保育事業を
運営。

京都市左京区
下鴨北野々神町31
北山通ノートルダム小前
TEL:075-722-4131



▲店舗HP

“シェアキッチン”を立ち上げたい!

『焼肉南山』の楠本社長は、緊急事態宣言の発令中、弁当や焼肉セットなどの店頭販売に営業形態を切り替え、事業を継続されていた。その一方、近隣飲食店では「加工食品の製造販売といった営業形態に挑戦したくても単独では難しい」と悩まれていた。それを耳にした社長は、「食の流れを止めないためにも、近隣飲食店と共用できる製造設備を備えた“シェアキッチン”を作りたい!」との想いを胸に、新たな事業への挑戦を決断された。



▲営業担当の阪田と楠本様親子

お客様の想いを形に! ~事業計画書の磨き上げ~

新事業への挑戦にあたり、楠本会長は事業再構築補助金の活用を思いつかれ、京信営業担当の阪田に相談された。相談を受けた阪田は楠本様親子の想いに共感し、**補助金申請に必要な事業計画書の作成に協力した**。阪田は当金庫の専門部署と連携し、会長が作られた計画書の**分かりにくい表現を洗い出し、内容を徹底的に分析した上で計画実現のための具体的根拠を明らかにした**。半年にわたって一緒に計画書の内容を磨き上げた結果、補助金は無事採択となり、念願のシェアキッチン事業が動き始めた。

食と農と人をつなぐ“架け橋”となるコミュニティに!

完成したシェアキッチンでは、近隣飲食店の料理人だけでなく食材の生産者も一緒に、コロナ禍で行き場を失った食材を加工・販売されており、**作り手同士の交流も進んでいる**。同時に、併設の保育園と連携し、**食育推進の場として子供たちに生きる力を育むコミュニティの運営も開始**。料理家監修のもとで子供の食育・探求学習プログラムを毎月実施されており、楠本様親子が構想を重ねてきた次世代に食をつなぐ取組が今、着々と進んでいる。



Story



株式会社 きたやま南山
代表取締役会長
楠本 貞愛 様



代表取締役社長
楠本 公平 様

食を通して地域に“生きる力”を!

食の流れを止めないためには、飲食店と消費者だけでなく、農畜産物を大切に育てる生産者とのつながりも不可欠です。「“焼肉＝笑顔が集う食の場”という消費者への想いを大切しつつ、食を支える生産者の想いも知ってほしい」と考え、行き着いたところが“シェアキッチン”でした。新事業への挑戦は不安でしたが、どんな時でも地域に寄り添い続ける京信さんの姿に勇気をいただきました。



北山支店
阪田 友成

お客様の想いに、全力で伴走します!

以前より楠本様親子から、「より良い地域を目指すための構想」や“長期的なビジョン”を伺っていました。「お二人の想いが詰まった今回の新事業は、何としても実現させたい」との一心でサポートしました。想いが込められた計画書を京信一体で磨き上げた結果、無事採択につながり、この上なく嬉しかったです。今後もお客様の想いを形にできるよう一生懸命伴走してまいります。



伏見支店 新築 Open

2022年
2月14日

伏見支店は1967年に開設された55年目となる店舗です。**みんなで伏見のまち全体の『未来』を考え、まちを『クリエイティブ』にする**、そんな場所を目指します。新伏見支店の渡り廊下の先には、**伏見酒造組合様の事務所がオープン予定**。同組合様と一緒に『きき酒会』などのイベントも開催予定です!



店内には、伏見でつくられた
たくさんの酒類が
並んでいます!



窓口カウンターを完全撤廃!
広く、ゆったりとした空間で
お手続きいただけます!



2階には地域のお客様も
ご利用いただける多目的
ホールをご用意!

1925年創業の伏見の老舗寝具メーカー大東寝具工業様のソファクッション『セトラ』! “オール伏見”で快適な空間をお届け!



▲公式HP



地域の皆様と過ごす“時間”を大切に

新伏見支店のテーマは、「Turn the Page～伏見から、はじまる～」です。「伏見の地域の皆様と一緒にまちづくりを進め、歴史に1ページを刻みたい」という想いで決めました。伏見酒造組合様とのコラボレーションや“ノーカウンター店舗”といった新しいチャレンジができることを嬉しく思います。新伏見支店をどうぞよろしくお願いいたします!



伏見支店
支店長 高岸 達哉



伏見支店

京都市伏見区西大手町318番地6
☎ 075-601-9131
🕒 窓口営業時間…平日9時～15時
🏧 ATM稼働時間………8時～21時

デジタル化・IT活用のご相談は、京信へ！

～お客様の「良き相談相手」を目指して～

こんなお悩み
ありませんか？

- ✓ いくつかのシステムが混在していて、使いづらい
- ✓ 請求・在庫管理などを手作業で行っているため、時間がかかりミスも起こる



デジタルサポートチームが最適な解決方法をご提案します！


京都信用金庫

株式会社京信システムサービス
 Kyoshin System Service Co., Ltd.

当金庫では、多くの事業者様から「**社内のシステムが使いにくい**」「**どうしたらいいか相談できる人がいない**」といったお声をいただいていた。また国も積極的にデジタル化を推進しており、補助金制度も強化されています。そこで当金庫は、グループ会社である「**京信システムサービス(KSS)**」と連携し、**デジタルサポートチームを組成**。お客様の業務内容や抱える課題を理解した上で、既存のシステムの問題点を分析し、課題解決のための**システム開発やツールの導入を提案**しています！



◀ KSS公式HP

デジタルサポートを受けられたお客様の声


 株式会社 銭形
 代表取締役
 上野 真司 様
介護現場のバックオフィスに革命が起きました！

弊社は8つの介護事業を行っており、**手作業で行う全事業の請求業務を効率化できないか**と1年ほど悩んでいました。京信の河部さんは、日頃から相談に乗ってくださっており、**実情を深く理解した上で、KSSさんに悩みを共有**してくださいました。おかげでニーズに合った請求管理システムを導入でき、請求業務に掛かる時間が5分の1になり、入力ミスも激減しました。**どの業者に相談しても解決できなかった“モヤモヤ”がスッキリし、感謝でいっぱいです！**



▲ 働かれている従業員様と施設利用者様

デジタルサポート担当者

**ITを使って、生活を豊かに**
 株式会社 京信システムサービス
 西川 祐希

上野様が喜ばれる姿を見て、システムエンジニアとしてのやりがいを感じました。ITは、我々の生活を豊かにしてくれる素晴らしい道具ですが、しっかりと考えて導入しないと、使えないものになってしまいます。これからも**弊社のIT活用のノウハウ、京信の本業支援に関するスキル**といった**お互いの強みを活かし、最適な解決方法をご提案**します！

**どんな小さな悩みごとも京信へご相談ください！**
 京信営業担当者
 河部 泰彦

システムの導入にあたって、京都府の補助金を活用することもでき、上野様が悩まれていた**“業務の効率化”**と**“資金の問題”**を同時に解決できました。「京信に相談して本当に良かったです！」と感謝のお言葉をいただき、とても嬉しかったです。これからも**京信グループ一体**となって、**答えを見つけるお手伝い**をさせていただきます！

お悩みがございましたら、お近くの窓口または営業担当者にご相談ください！



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！
[Click!](#)